京都芸術大学舞台芸術研究センター主催　渡邊守章記念

熊野 読次之伝 村雨留



春秋座 能と狂言

名取川



プレトーク〈演出をめぐって〉
片山九郎右衛門（観世流シテ方）
天野文雄（大阪大学名誉教授）

狂言 **名取川**

シテ 僧 野村 万作
アド 名取の何某 野村 裕基
地謡 内藤 連
中村修一
飯田 豪
後見 岡 聡史
大鼓 亀井 広忠
小鼓 大倉 源次郎
笛 竹市 学

〈休憩約15分〉

能 **熊野** 読次之伝 村雨留

ツレ 朝顔 観世 淳夫
シテ 熊野 観世 銕之丞
ワキ 平宗盛 宝生 常三
ワキツレ 太刀持 舘田 善博
後見 大江 信行
青木 道喜
地謡 浅井 風矢
安藤 貴康
橋本 忠樹
分林 道治
片山 伸吾
味方 玄
片山 九郎右衛門
浦田 保親

「春秋座ー能と狂言」シリーズは、2009年度に渡邊守章（当時舞台芸術研究センター所長）の企画・監修により始まりました。
昨年度に引き続き、「演出」に焦点をあて、能・狂言の新たな楽しみ方、見所に迫ります。

2027年 2月6日（土）

14:00開演（13:30開場）

京都芸術劇場 春秋座［京都芸術大学 内］

撮影：『熊野』（八世観世銕之亟）前島写真店／『名取川』政川慎治

文化庁　京都芸術劇場

京都芸術大学
舞台芸術研究センター主催
渡邊守章記念

春秋座 能と狂言


片山 九郎右衛門


観世 淳夫


観世 銕之丞


野村 裕基


野村 万作


亀井 広忠


大倉 源次郎


竹市 学


宝生 常三

2027年2月6日[土]

14:00開演
(13:30開場)

令和8年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

◉舞台監督 ― 小坂部 恵次　◉照明デザイン ― 藤原 康弘　◉協力 ― 銕仙会、万作の会　◉後援 ― 京都市教育委員会

「取り違え」と「春や花への愛惜」
―『名取川』と『熊野』を観る―

『**名取川**』という曲名は奥羽山脈に発し仙台から太平洋に流れこむ大きな川です。もちろん「有名な川」の謂ですが、それを「名前を取る」とした、いかにも狂言らしい作品です。

比叡山での受戒を終えて本国に帰郷する遠国の僧(シテ)は物覚えが悪いため、せっかく稚児二人に袖に書きつけてもらった「希代坊」と「不祥坊」の名を忘れ気味です。名取川を渡る途中、溺れかけた拍子に袖の文字が消え、つい名を忘れてしまいます。僧はなんとか流された名前を掬(すく)おうとこの曲の中心でもある「川尽くし」を謡って探すのですが、かかるのは雑魚ばかり。そこに向こう岸に用事がある名取の某(アド)がふと口にした「希代」「不祥」という言葉から、ようやく僧はわが名を思いだします。類曲の『入間川(いるまがわ)』によく似ていますが、この作品を万作氏はあまり演じていないのはなぜなのか、その理由をぜひ聞きたいものです。

『**熊野**』といえば「熊野松風は米の飯」という言葉を思いだす人も多いはずです。康正二年(一四五六)の『歌舞髄脳記(かぶずいのうき)』に「寵深花風(ちょうしんかふう)」とされていますから、禅竹の作と思われます。

この『熊野』については、病が重い老母を心配する熊野(シテ)の心情が描かれているとされています。その象徴が「四条五条の橋の上」ではじまる花盛りの清水への場面ですが、それだけでなく、熊野とともに「今年かぎり」の「春や花」を見たいという宗盛(ワキ)の希望も見逃してはなりません。テキストにはいたるところに「春や花」への愛惜が記されているからです。これは老母の文を持参した朝顔(ツレ)にもいえることです。つまり、『熊野』では病の老母という「現実」と花や春への「愛惜」、その葛藤が『熊野』の主題だと思われるのです。「文」の途中で宗盛から熊野へと読み次ぐ「読次之伝」の小書もあり、それだと宗盛はいよいよ『熊野』にふさわしい人物という印象が濃くなります。

本日の『熊野』は「読次之伝」「村雨留」の小書つきです。「村雨留」は清水に着いた熊野が村雨にあう場面を強調した小書ですが、そこに老母への心情をかさねてもいます。これらの場面を銕之丞氏がどう演じられるのかも楽しみです。(天野 文雄)

□ 入場料〈全席指定〉

〈一階席〉
一般 7,500円／友の会 7,000円

〈二階席〉
一般 6,500円／友の会 6,000円
学生＆ユース 2,500円

＊ユースは25歳以下
＊学生・ユースは要証明書提示
＊未就学児のご入場はご遠慮ください。

6歳以上18歳以下の皆様は無料でご招待(同伴者は半額)
お申込み方法など詳細は劇場WEBサイト(https://k-pac.org/kodomobutai2026/)をご確認ください。

□ チケット発売日

友の会先行発売――――2026年11月10日(火)
10月26日(月)までの入会でご利用いただけます。
一般発売――――2026年11月11日(水)

※チケット発売日はチケットセンター窓口での販売をいたしません。
お電話かオンラインチケットストアでのお申込みをお願いいたします。

□ チケット取扱い

◉ 京都芸術劇場チケットセンター(窓口販売・電話予約)
Tel. 075-791-8240(平日10:00～17:00)
● 劇場オンラインチケットストア　https://k-pac.org/
＊要会員登録(無料)
● チケットぴあ　https://t.pia.jp
● イープラス　https://eplus.jp

※車椅子ご利用のお客様、足の不自由なお客様は、
京都芸術劇場チケットセンター(Tel. 075-791-8240)まで
お申し込み・お問い合わせください。
※当劇場2階席への移動は階段のみとなります。

□ 託児サービス(要事前予約)
※詳細は劇場WEBサイトをご確認ください。



京都芸術劇場 春秋座

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都芸術大学内
京都芸術劇場　検索

◉ 叡山電車「茶山・京都芸術大学」駅下車　徒歩約10分
◉ 京都市バス204・5・3系統「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車
※ 駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はご遠慮ください。

□ 主催・お問合せ先
京都芸術大学 舞台芸術研究センター
Tel. 075-791-9207　https://k-pac.org/